令和８年11月13日（金）
令和８年度　**新興感染症受入訓練**

日本国内・宮崎県内における麻疹の発生状況報告

宮崎県延岡保健所　健康づくり課

1

今回の内容

1　麻疹とは
2　麻疹の発生動向
3　麻疹の予防
4　麻疹に対する取組

2

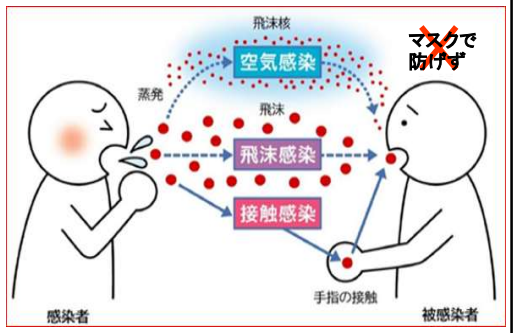
1　麻疹（はしか）とは

麻疹ウイルスの感染で生じる全身感染症

感染力が強く
少しの麻疹ウイルスとの接触でも**約90%感染**する。

感染経路は
接触、飛沫、空気感染

すれ違ったくらいでも感染
感染力が非常に強い



引用：日本感染症学会HP、厚生労働省HP

3

麻疹ウイルスの感染力　感染者1人から何人に感染するのか

（基本再生算数）

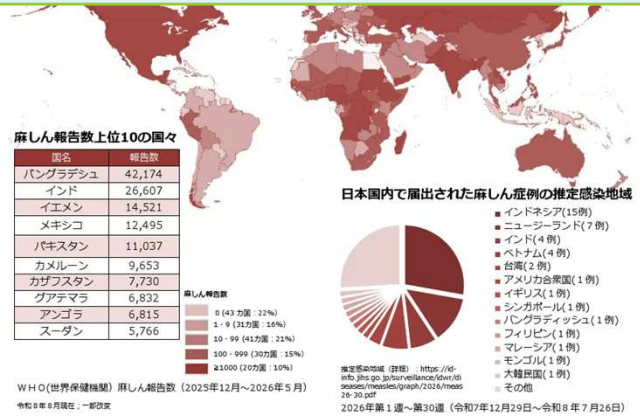
季節性インフルエンザ	1.2～1.4人
百日咳ウイルス	5.5人
風疹ウイルス	6～7人
ムンプスウイルス（おたふくかぜ）	10～12人
水痘ウイルス	10～12人
麻疹ウイルス	12～18人

伝染性感染症の中で最強

引用：厚生労働省HP

4

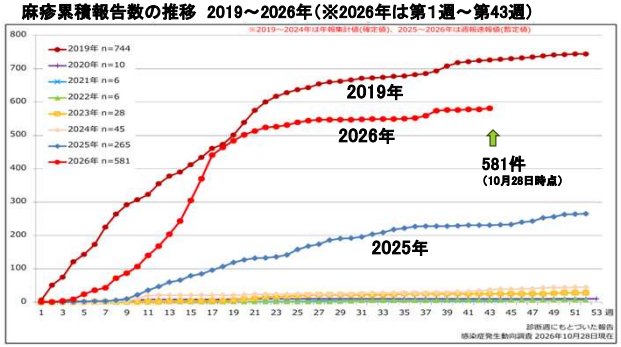
2　麻疹の発生動向　（世界：2026年8月現在）



出典：厚生労働省HP　5

5

2　麻疹の発生動向　（国内：2019年以降）



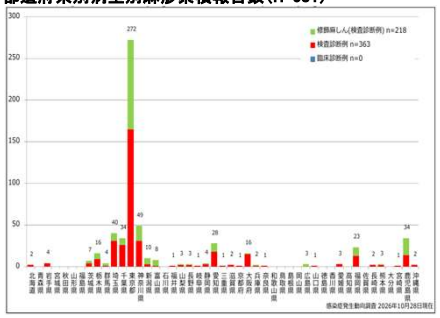
2026年10月28日時点の報告数は581件で新型コロナウイルス感染症流行の2020年以降最多となっています。2026年は第5週（1/26～2/1）以降に届出数が増加。推定感染地域は国内が多く、医療機関・家庭内・小学校・高等学校等での二次感染を含む感染拡大や飲食店従業員における集団発生事例も報告されています。

出典：国立健康危機管理研究機構　感染症情報提供サイト　6

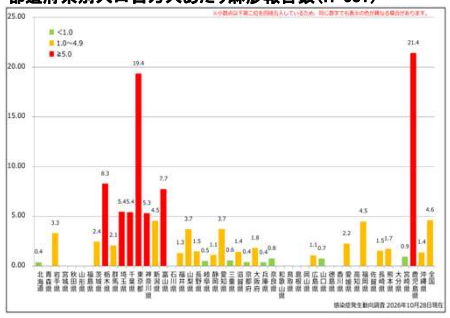
6

2　麻疹の発生動向　（国内：2026年第1～43週）

都道府県別病型別麻疹累積報告数（n=581）



都道府県別人口百万人あたり麻疹報告数（n=581）

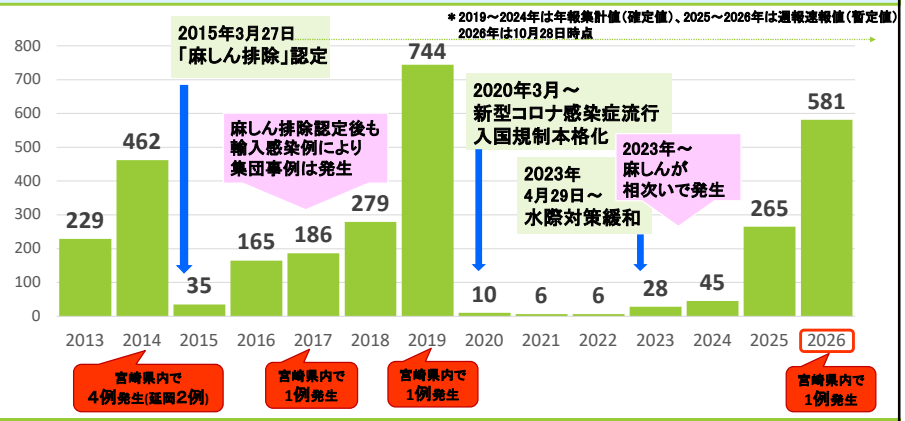


2026年10月28日時点の累積報告数は東京都が272例で最も多く、次いで神奈川県49例、埼玉県40例、千葉県と鹿児島県34例の順に多い。人口百万人あたりの麻疹報告数は鹿児島県が21.4と最も多く、次いで東京都が19.4となっている。

出典：国立健康危機管理研究機構　感染症情報提供サイト　7

7

2　麻疹の発生動向　（国内・県内：2013年以降）



引用：厚生労働省　麻しんの現状と対策について【自治体向け説明会】資料
JIHS　麻しんの発生に関するリスクアセスメント等による最近の発生動向の説明【自治体向け説明会】資料　8

8

2　麻疹の発生動向　（県内：2013年以降、7例）

報告年	報告保健所	年齢群	病型	症状	ワクチン接種	海外渡航歴（遺伝子型）
2014	宮崎市	20歳代	検査診断例	発熱、発疹、結膜充血、コプリック斑、腸炎	なし	あり・フィリピン（B3）
2014	延岡	小学生	修飾麻しん検査診断例	発熱、発疹	不明	あり・フィリピン（B3）
2014	延岡	10歳代	臨床診断例	発熱、発疹、結膜充血、コプリック斑、咳、鼻汁	不明	なし・家族接触（B3）
2014	都城	20歳代	検査診断例	発熱、発疹、咳、嘔吐	1回	非公表（B3）
2017	宮崎市	20歳代	検査診断例	発熱、発疹、結膜充血、咳	1回	あり・タイ（D8）
2019	宮崎市	30歳代	修飾麻しん検査診断例	発熱	不明	なし（B3）
2026	宮崎市	20歳代	検査診断例	発熱、発疹	あり	なし

出典：宮崎県感染症週報、国立健康危機管理研究機構　感染症情報提供サイト

9

4　麻疹の予防

麻疹の治療

麻疹に対する**特効薬（抗ウイルス薬）はなく**、治療は症状に合わせた対症療法が中心

基本的な対処
- ◇十分な安静と水分補給
- ◇発熱に対する解熱剤（アセトアミノフェン）
- ◇栄養管理（特にビタミンAの補充が重要）
- ◇咳・鼻水などへの対症療法

入院が必要なケース
- ◇高熱・脱水が続く場合
- ◇肺炎・呼吸困難を合併した場合
- ◇脳炎の兆候（意識障害・けいれん）
- ◇乳幼児・免疫不全者・妊婦の重　症例

麻しんによる免疫力低下で細菌性肺炎・中耳炎などの二次感染が起こった場合は、抗菌薬が使用されます。

最善の対策は感染そのものをワクチンで予防することです。

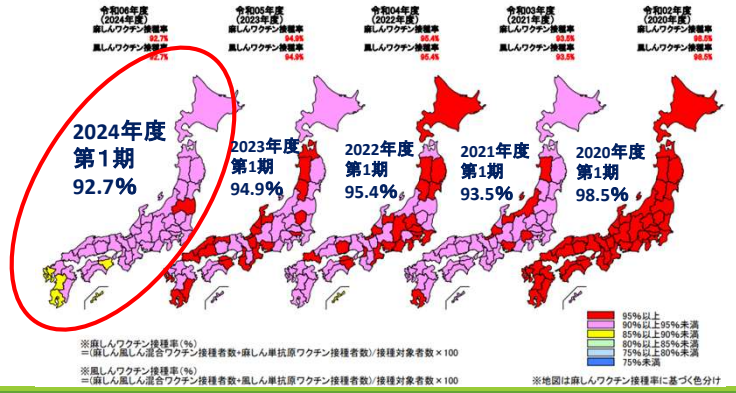
第1期（1歳頃）　第2期（就学前の1年間）の2回のワクチン接種でほぼ確実に予防可能
1回接種で約93～95%、2回接種で97～99%の予防効果がある
麻疹の流行を防ぐには、集団全体のワクチン接種率を95%以上に維持することが必要

引用：日本感染症学会HP

10

3　麻疹の予防（全国ワクチン定期接種状況）

第1期　麻しん風しんワクチン接種状況



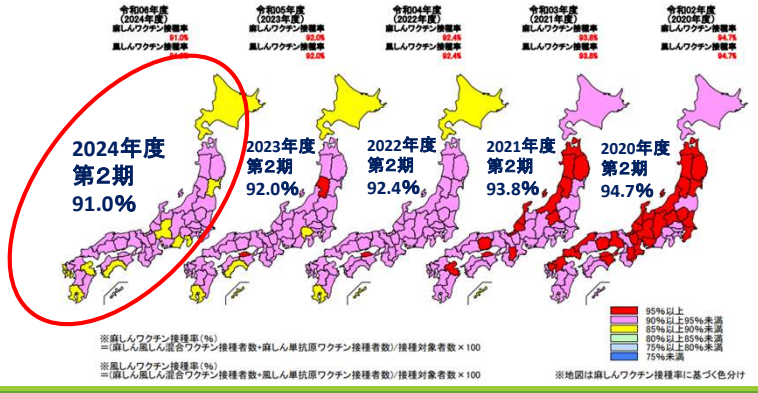
出典：厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部予防接種課、
国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所予防接種研究部

11

11

3　麻疹の予防（全国ワクチン定期接種状況）

第2期　麻しん風しんワクチン接種状況



出典：厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部予防接種課、
国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所予防接種研究部

12

12

3　麻疹の予防（県内ワクチン定期接種状況）

第１期

2024年度
2024年4月1日～2025年3月31日

管内	市町村（特別区）名	麻しん風しんワクチン接種対象者数（人）①	MRワクチン接種者数（人）②	麻しん単抗原ワクチン接種者数（人）③	風しん単抗原ワクチン接種者数（人）④	麻しんワクチン接種率(%) ⑤=(②+③)/①×100	風しんワクチン接種率(%) ⑥=(②+④)/①×100
	合計	6,825	6,147	0	0	90.1	90.1
1	串間市	68	68	0	0	100.0	100.0
	綾町	29	29	0	0	100.0	100.0
3	高千穂町	50	49	0	0	98.0	98.0
4	小林市	217	212	0	0	97.7	97.7
5	木城町	28	27	0	0	96.4	96.4
6	えびの市	63	58	0	0	92.1	92.1
7	宮崎市	2,761	2,538	0	0	91.9	91.9
8	高鍋町	105	96	0	0	91.4	91.4
9	国富町	108	98	0	0	90.7	90.7
10	日向市	382	344	0	0	90.1	90.1
11	延岡市	744	665	0	0	89.4	89.4
12	都城市	1,274	1,138	0	0	89.3	89.3
13	西都市	129	114	0	0	88.4	88.4
14	門川町	107	93	0	0	86.9	86.9
15	都農町	71	61	0	0	85.9	85.9
16	日南市	230	196	0	0	85.2	85.2
17	椎葉村	12	10	0	0	83.3	83.3
18	新富町	109	89	0	0	81.7	81.7
19	三股町	164	131	0	0	79.9	79.9
20	川南町	77	61	0	0	79.2	79.2
21	美郷町	34	26	0	0	76.5	76.5
	五ヶ瀬町	17	13	0	0	76.5	76.5
23	日之影町	20	14	0	0	70.0	70.0
24	西米良村	3	2	0	0	66.7	66.7
	美郷町	18	12	0	0	66.7	66.7
26	諸塚村	5	3	0	0	60.0	60.0

※各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

第２期

2024年度
2024年4月1日～2025年3月31日

管内	市町村（特別区）名	麻しん風しんワクチン接種対象者数（人）①	MRワクチン接種者数（人）②	麻しん単抗原ワクチン接種者数（人）③	風しん単抗原ワクチン接種者数（人）④	麻しんワクチン接種率(%) ⑤=(②+③)/①×100	風しんワクチン接種率(%) ⑥=(②+④)/①×100
	合計	8,518	7,778	0	0	91.3	91.3
1	西米良村	5	5	0	0	100.0	100.0
	諸塚村	10	10	0	0	100.0	100.0
	椎葉村	21	21	0	0	100.0	100.0
4	美郷町	122	119	0	0	97.5	97.5
	高千穂町	81	79	0	0	97.5	97.5
6	えびの市	111	106	0	0	95.5	95.5
7	川南町	112	106	0	0	94.6	94.6
8	門川町	138	130	0	0	94.2	94.2
9	日向市	428	401	0	0	93.7	93.7
10	高鍋町	146	136	0	0	93.2	93.2
11	日之影町	14	13	0	0	92.9	92.9
12	延岡市	849	787	0	0	92.7	92.7
13	宮崎市	3,350	3,094	0	0	92.4	92.4
14	西都市	214	196	0	0	91.6	91.6
15	高原町	47	43	0	0	91.5	91.5
16	五ヶ瀬町	23	21	0	0	91.3	91.3
17	小林市	345	313	0	0	90.7	90.7
18	都城市	1,417	1,282	0	0	90.5	90.5
19	日南市	349	315	0	0	90.3	90.3
20	串間市	128	114	0	0	89.1	89.1
21	木城町	39	34	0	0	87.2	87.2
22	都農町	77	66	0	0	85.7	85.7
23	新富町	109	88	0	0	80.7	80.7
24	三股町	296	238	0	0	80.4	80.4
25	美郷町	26	19	0	0	73.1	73.1
26	綾町	61	42	0	0	68.9	68.9

※各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

2024年度
宮崎県
ワクチン接種率

第1期90.1%
第2期91.3%

いずれも95%を
下回っている

出典：厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部予防接種課、
国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所予防接種研究部

13

13

3　麻疹の予防（ワクチンの定期接種状況）

日本の定期接種制度の変遷により、生まれた年代によって接種状況が大きく異なります。ご自身の世代を確認してください。

対象世代 子ども（1歳～中学生）

定期接種2回が基本

1歳（第1期）と就学前1年間（第2期）の2回が定期接種の対象です。この2回を確実に受けることが、お子さんを守る最も重要な対策です。母子健康手帳で接種記録を必ず確認してください。

対象世代 概ね36歳以下の成人

2回接種済みか確認を

2回定期接種が制度化された世代（**1990年4月2日以降に生まれた方**）ですが、接種歴が不明・1回のみの方も見られます。母子健康手帳で2回の記録を確認し、不明または未完了であれば、かかりつけ医に相談のうえ追加接種を検討してください。

対象世代 36～59歳の成人

2回接種が済んでいない方が多い世代

この世代（**1990年4月1日以前に生まれた方**）は**定期接種制度の変更前**にあたり、1回しか接種を受けていない方が多くいます。過去に麻しんにかかった確実な記憶がない方は、抗体検査で免疫を確認するか、かかりつけ医に相談のうえ**MRワクチンの追加接種（任意接種）**を積極的に検討してください。

対象世代 60歳以上の方

原則、接種は不要

ワクチン導入（1966年）以前の生まれが多く、幼少期に麻しんに自然感染し、**免疫をすでにお持ちの方がほとんど**です。原則として追加接種は不要とされていますが、感染歴が全くない場合や免疫不全のある方は、かかりつけ医にご相談ください。

※年齢区分は目安です。

引用：日本感染症学会HP

14

14

4　麻疹に対する取組

感染予防に関する啓発

〇海外渡航者の輸入事例や国内伝播による
　感染拡大防止
〇麻しん風しんワクチン（MRワクチン）接種勧奨

⇒海外や国内の状況を踏まえ、

各関係機関宛てに注意喚起の通知発出
プレスリリースやホームページ掲載
相談対応及びリーフレット配布





15

15

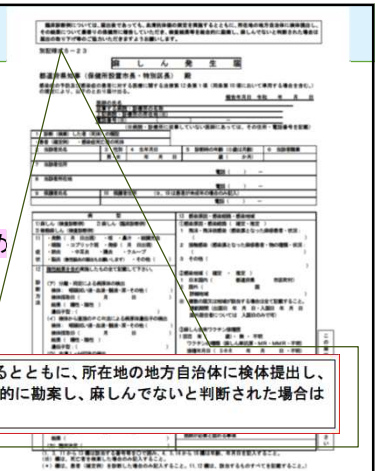
4　麻疹に対する取組

発生時早期対応

感染症法第12条第1項
麻しん　五類感染症・全数報告対象

麻しんの場合は迅速な行政対応が必要となるため
診断後直ちに届出が必要

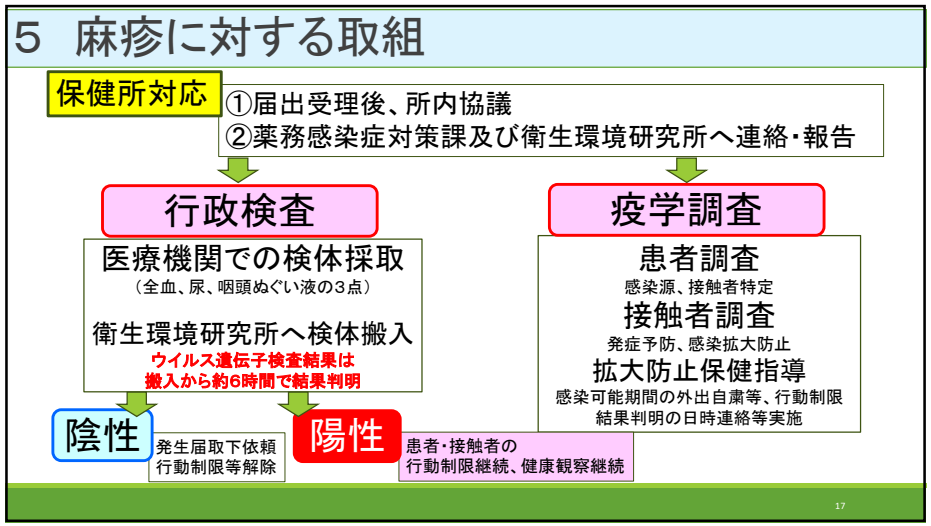
保健所が窓口



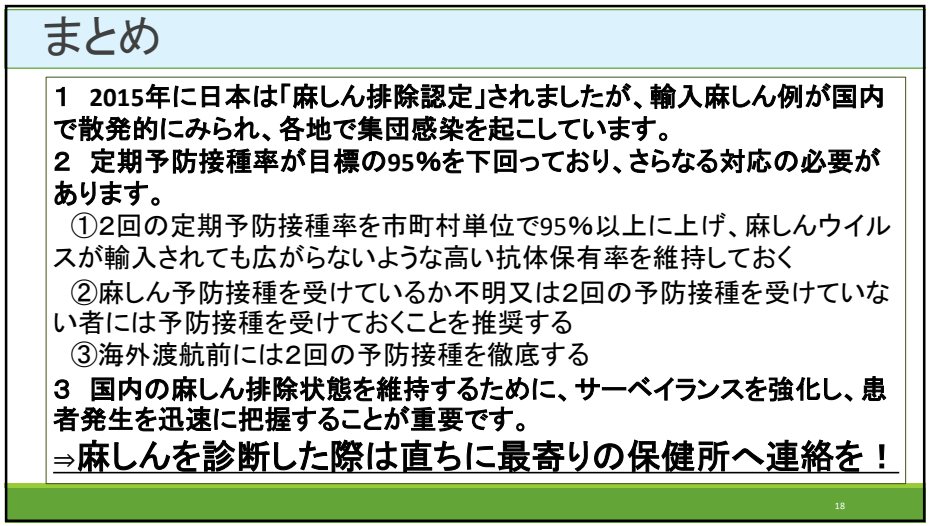
臨床診断例については、届出後であっても、血清抗体価の測定を実施するとともに、所在地の地方自治体に検体提出し、その結果について最寄りの保健所に報告していただき、検査結果等を総合的に勘案し、麻しんでないと判断された場合は届出の取り下げ等のご協力いただきますようお願いします。

16

16


5　麻疹に対する取組
保健所対応
①届出受理後、所内協議
②薬務感染症対策課及び衛生環境研究所へ連絡・報告
行政検査
医療機関での検体採取
（全血、尿、咽頭ぬぐい液の3点）
衛生環境研究所へ検体搬入
ウイルス遺伝子検査結果は
搬入から約6時間で結果判明
疫学調査
患者調査
感染源、接触者特定
接触者調査
発症予防、感染拡大防止
拡大防止保健指導
感染可能期間の外出自粛等、行動制限
結果判明の日時連絡等実施
陰性
発生届取下依頼
行動制限等解除
陽性
患者・接触者の
行動制限継続、健康観察継続
17

17


まとめ
1　2015年に日本は「麻しん排除認定」されましたが、輸入麻しん例が国内で散発的にみられ、各地で集団感染を起こしています。
2　定期予防接種率が目標の95%を下回っており、さらなる対応の必要があります。
①2回の定期予防接種率を市町村単位で95%以上に上げ、麻しんウイルスが輸入されても広がらないような高い抗体保有率を維持しておく
②麻しん予防接種を受けているか不明又は2回の予防接種を受けていない者には予防接種を受けておくことを推奨する
③海外渡航前には2回の予防接種を徹底する
3　国内の麻しん排除状態を維持するために、サーベイランスを強化し、患者発生を迅速に把握することが重要です。
⇒麻しんを診断した際は直ちに最寄りの保健所へ連絡を！
18

18